

平成19年度

埼玉県公立高等学校入学者選抜
前期募集総合問題結果について

埼玉県教育委員会

目 次

総合問題実施の概要	1 ~ 3
1 前期募集について	
2 実施の目的	
3 出題の基本方針	
4 実施校数等	
5 調査の方法	
6 得点分布等	
実施結果の分析と考察	4 ~ 20
1 総合問題A	4
(1) 正答率	
(2) 出題のねらい	
(3) 結果の概要	
(4) 各問題の分析及び考察	
2 総合問題B	12
(1) 正答率	
(2) 出題のねらい	
(3) 結果の概要	
(4) 各問題の分析及び考察	
資料	21 ~ 43
「問題」及び「正答と配点」	
1 総合問題A	22
2 総合問題B	33

総合問題実施の概要

1 前期募集について

平成14年度の入試改善検討会議において、推薦入学の課題の解決に向けた入学者選抜制度の在り方について協議がなされました。その結果、「生徒が自らの意志と責任において進路をより一層主体的に選択し、希望するだれもが受検の機会を得られるよう、これまでの推薦入学を見直すことが必要である。」との報告がなされました。これを受けて、平成15年度の埼玉県公立高等学校入学者選抜方法改善協議会において、「推薦入学については、希望する誰もが受検の機会を得られるよう、校長の推薦を必要としない入試（前期入試）とすることが必要である。各高等学校の特色ある教育活動の実現に資するよう、『前期入試』において、面接の実施方法を含めて、学校独自に行うことができる選抜方法を検討することが必要である。その際、一般入試とは異なる面から生徒の能力・適性等を多面的に評価することに配慮する必要がある。」との報告がなされました。

この報告を受けて、平成17年度入試から前期募集を実施しており、「総合問題」は、高等学校入学者選抜の前期募集において、各学校が入学志願者の総合的な能力・適性をはかる一つの資料として、選択導入が可能なものとして実施することとなりました。

2 実施の目的

- (1) 入学志願者の目的意識や関心・意欲を重視し、能力や適性を積極的に評価する観点から実施します。
- (2) 中学校学習指導要領に示された内容の範囲から出題し、各教科・科目等の複合的・総合的な内容で、志願者の総合的な能力や適性をはかることのできるものとしします。

3 出題の基本方針

(1) 総合問題全体の基本方針

- ア 中学校における平素の学習を重んじ、中学校学習指導要領に示されている基礎的・基本的な内容について出題します。
- イ 各教科の目標に照らして、受検者の学力を十分に把握できるように出題し、記述による解答を求めよう配慮します。
- ウ 受検者の思考力、判断力、表現力等がみられるように、出題の内容、出題数等について配慮します。

(2) 総合問題Aの出題方針

提示された資料やデータの内容について、それらを総合的に読み取る力や表現する力を把握できるような問題構成とします。問題は、中学校における平素のすべての学習の中で培われた基礎的・基本的な内容と教科横断的な内容を複合的・総合的に問うものとしします。

特に、資料等を総合的に読み取り、内容のまとめや自らの考え等を記述させるなど、読解力や表現力をみる問題とします。

(3) 総合問題Bの出題方針

提示された資料やデータの内容について、それらを総合的に読み取る力や表現する力を把握できるような問題構成とします。問題は、中学校における平素のすべての学習の中で培われた基礎的・基本的な内容と教科横断的な内容を複合的・総合的に問うものとしてします。

特に、資料等を総合的に読み取り、内容をまとめ、表やグラフに表現する力や自らの考えを論理的に記述する力、また、数式等を用いて考察したり説明したりする力をみる問題とします。さらに、応用的・発展的な内容についても出題します。

4 実施校数等(59校)

(1) 各学校で内容を定めて実施した学校(8校)

朝霞・・・60分、伊奈学園総合(人文系、理数系、生活科学系、情報経営系)・・・各50分、浦和・・・60分、浦和第一女子・・・60分、大宮(普通科、理数科)・・・各60分、川越・・・50分×2、川越女子・・・50分×2、熊谷・・・60分

「50分×2」は、2種類の総合問題を各50分で実施したことを示す。

(2) 総合問題Aを実施した学校(12校)・・・50分

朝霞西、川口、川越総合、川越西、川越初雁、進修館(普通科、総合学科)、草加西、草加東、鳩ヶ谷(普通科)、深谷、市立県陽、市立大宮西

(3) 総合問題Bを実施した学校(39校)・・・50分

岩槻、浦和西、浦和東、大宮光陵(普通科、外国語コース)、春日部、春日部女子、春日部東、川口北、川越南、久喜、久喜北陽、熊谷女子、熊谷西、越ヶ谷、越谷北、越谷西、越谷南、坂戸、杉戸、草加、秩父、所沢、所沢北、所沢西、豊岡、羽生第一、深谷第一、不動岡、本庄、松山、松山女子、与野(普通科、理数コース)、和光国際、蕨、市立川口、市立浦和、市立浦和南、市立大宮北、市立川越(普通科)

5 調査の方法

平成19年度埼玉県公立高等学校入学者選抜前期募集の総合問題Aを受検した3,226名の答案から32名、総合問題Bを受検した15,713名の答案から157名の答案を抽出しました。これを基本答案として、各問に対する答案の内容を分析し、所見を加えました。

6 得点分布等

(1) 母集団及び標本の平均

	総合問題 A (100点満点)		総合問題 B (100点満点)	
	個体数	平均	個体数	平均
母集団	3,226	58.3	15,713	58.1
標本	32	57.0	157	58.9

(2) 得点分布

	総合問題 A (標本32)	総合問題 B (標本157)
100 ~ 96		
95 ~ 91		
90 ~ 86		1
85 ~ 81	2	2
80 ~ 76		8
75 ~ 71	4	10
70 ~ 66	4	21
65 ~ 61	1	30
60 ~ 56	9	28
55 ~ 51	4	24
50 ~ 46	2	17
45 ~ 41	3	9
40 ~ 36		5
35 ~ 31	1	
30 ~ 26		2
25 ~ 21	1	
20 ~ 16	1	
15 ~ 11		
10 ~ 6		
5 ~ 0		
標本平均	57.0	58.9

(3) 出題数

		総合問題 A	総合問題 B
問	大 問 題	6	5
	小 問 題	24	34
題 数 別	選択肢によるもの	11(45.8%)	14(41.2%)
	記述によるもの	13(54.2%)	20(58.8%)
	用語・単語	7	5
	文章表現	6	15
	作図	0	0
	配 点 別	選択肢によるもの	38点
	記述によるもの	62点	72点